



情勢を見る目

現在、朝鮮半島情勢は歴史に類例のないレベルで緊張している。

『情勢を見る目』で最も重要なことは『順序を守る』ことである。そして、朝鮮は『植民地』となることを拒絶する。どのような暴力にも屈することなく、である。朝鮮は確かに怒っているのだが、『なぜ怒るのか』を考えてみようということだ。

補足を一つ付け加えるのであれば、『分かるけど、そこまでしなくても…』という論理について。『日本に住む我々のことも考えてくれれば』という言葉は、『朝鮮に生きる人たちは関係ない』という『朝鮮に生きる人々を忘殺する』ボタンを押す行為に直結することになる。悪意があるうと、なかろうと、である。

米韓の軍事演習の先にある朝鮮滅亡へのストーリーは、明確に『朝鮮人として生きる』という選択肢の強制削除に繋がっている。

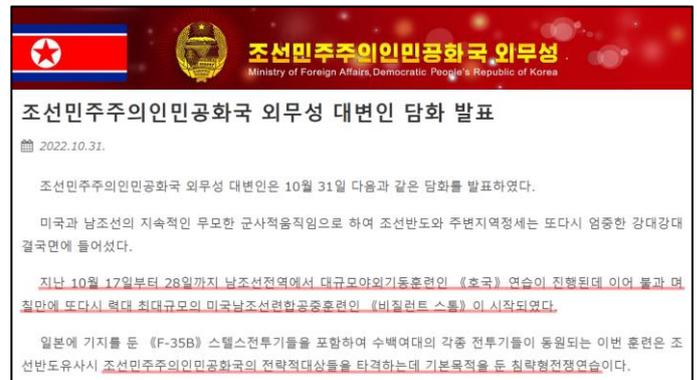
とはいえ、日本に生きる在日同胞たち・子どもたちにとって、『大変な事態』に憂慮を示すのはある意味仕方がない部分もある。捌け口がないのだから。ひとえに情勢が良くなるように願うのみ、という態度もとることもできるであろうが、重要なことは、『私は何を？』という自問である。

10月31日～11月4日まで実施された米韓軍事演習。

軍用機240機が参加する過去最大規模の合同空中演習「ビジラントストーム (Vigilant Storm)」という名称は、イラク侵略時の作戦名『デザートストーム (砂漠の嵐)』の名称にちなんでいる。

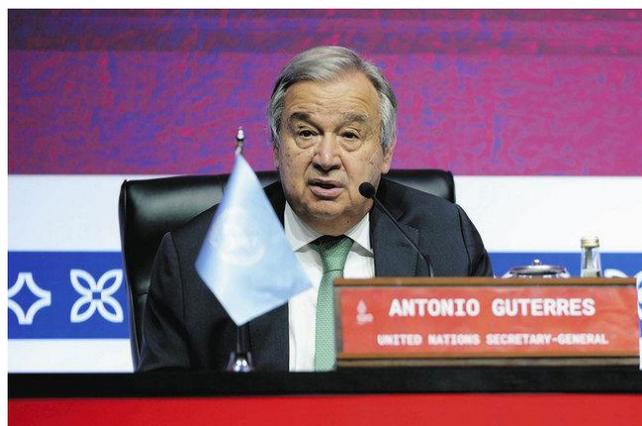


朝鮮の再三にわたる警告を無視し行われた軍事演習に対し、朝鮮は「警告通り」軍事アクションを行った。11月2日からだ。(しかし、この『警告』(朝鮮外務省代弁人、党中央委員会談話など)が報道されたことはない)



当初4日までと予定されていた訓練期間を延長することに決定したことに対して、言論は拍手喝采した。

「防衛措置として当然」と評価したわけだ。そして朝鮮の行動は挑発・脅威と糾弾する。



これをダブルスタンダードという。上記「分かるけど…」という言葉は、このダブルスタンダードと同じ「もの見方・考え方」であろう。

そもそも金正恩総書記は昨年9月の施政演説で現代世界の情勢について「新冷戦」という見方を示しながら、朝鮮の内外政策もこの新たな情勢に対応する形で変貌を遂げたと指摘した。

朝鮮は朝鮮労働党第9回大会（2021年1月）以降、すべての政策の関心を国内に向けていた。

国内のせい弱部門を補い、発展した部門と立ち遅れた部門の非対称性を克服し、経済、文化などのあらゆる領域で均衡的な発展を遂げようとしていた。国力向上を先行させるために朝米関係では米国の核脅威を自国の核抑止力で制して情勢を管理する方法を取ってきたのである。

はっきり言って、国外に関心を向けている場合ではない。その隙を縫うように「再開」された軍事演習。「はあ」とため息をつくのはだれか、想像すればわかるであろう。

アメリカは、緊張を望むが戦争を望まない。朝鮮半島情勢の緊張がもたらすのは軍産複合体の復興と半ば強制的・爆発的に売れる「ミサイル防衛システム」である。そして、現況すべての防衛システムを突破できる朝鮮のミサイル技術が試験されたのが11月19日であった。

朝鮮の持つ大陸間弾道ミサイル（ICBM）の「火星17」の試射には、「戦争状況を終わらせる」朝鮮の強い意志が込められている。

情勢は突然変わる。明けない夜もない。出口はすぐそこである。

さて、我々がやることは明確である。この情勢の中、子供たちに危害を加えんとするレイシストたちから子供たちを守ること、偏見と侮蔑にたいして卑屈にならないことである。

先日、中央青商会と日本JC、韓国青商連合会との懇親会が行われた。一本の線を持ちつつも、地域地方単位での友好を深めることは、必ず世の無駄な格付けと偏見をなくす一手となる。友好活動は、未来に直結する最重要活動の一つ。課題は山積みであるが、目の前の友人をつかんでいくことが、子供たちの未来を守り、大きな情勢をも覆す力にもなるのである。（中央青商会）

우리民族フォーラム2022が開催されました！

11月20日、우리民族フォーラム2022を成功裏に終えることが出来ました。

この期間開催のために尽力して頂いたすべての方々、雨の中ご足労頂いた方達には感謝しかありません。

先代と同胞達に感謝し、これからも同胞社会、コッポンオリ達の為により汗を流しどんな困難にも青商会が先陣をきって走り続けます。

来年は三重で会いましょう！

HP、Facebook、Instagramを通して、前日から本番までの様子を随時更新していきます！是非ご覧ください。

新時代・魂！



유족한 동포사회를 위하여!

꽃봉오리들의 미래를 위하여!

우리 민족포럼 2022

우리民族フォーラム 2022



あのピョンコマ達の公演がYouTubeで見れる! ?



우리民族フォーラム2022祝賀公演を大公開!

11月20日、雨の中우리民族フォーラム2022にお越し頂いた方々、配信でご覧頂いた方々コマプスムニダ!!

우리民族フォーラム2022に送られた平壤青少年学生たちの祝賀公演を公開します。

多くの同胞、会員たちがご覧になり、元気をもらってください!

우리 청상회에 대한 한없는 기대와 사랑에 감사드리면서...



QRコードチェック! ▲



Instagram、Facebookで青商会の活動チェック!
是非フォローよろしくお願ひします。



今月号も必見！朝青紹介コーナー！
朝青から青商会へ、未来へのバトン繋いでいきましょう！

各分野で活躍するスーパーセセデたちを紹介！

Sesede's Interview



(株) Still Green 代表取締役
康裕俊

プロフィール

かん・ゆじゅん／

1998年生／東京第5初中・朝高卒／

「和組DAO」管理者／

ブロックチェーン技術開発

(株) Still Green という会社でブロックチェーン技術を使った web3 領域の事業を複数展開しているユジュンさん。高校卒業後、アメリカのセミプロリーグのクラブチームでサッカーをする経験を経たあと、アメリカの大学を中退。その後オンライン英会話教室事業を始め、その過程で仮想空間に対する憧れ、ブロックチェーンという最新技術と出会い、その市場の大きさに惹かれていく。バーチャルチューバーの事務所を立ち上げたユジュンさんはある日、ブロックチェーン技術とVチューバーの相性がいいことに気づく。ブロックチェーンの分散思想を学ぶうちに、事務所を分散管理するという着想を得て、新たに分散チューバープロダクションを作る。その事務所はアメリカの会社に売却されることになったが、ビジョン自体は変わらず、今もなお Web3 業界で開発を続けている。

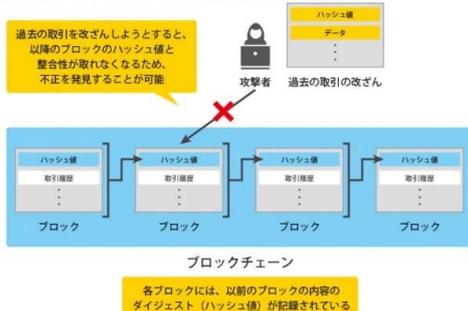
「和組」DAOは8500人ほどの日本最大級のweb3コミュニティで、日本をweb3立国にするというビジョンのもと日々活動している。この領域の国境がなくなってきている中で、日本のweb3領域を拡大、海外進出を支援したり、反対に海外の日本進出を手助けしたり。最初は学ぶためのコミュニティだったものの、今では管理者として活動に精を出している。

「ホワイトペーパー」やニューサイト、さまざまなコミュニティに顔を出し日々最新技術を徹底的に学んでいるユジュンさん。その甲斐あってか、自身が手がけた事業がフランスの世界最大仮想通貨取引所バイナンスが主催しているインキュベーションプログラム12項目に採択された。イノベーションを起こし続けたいと語ってくれたユジュンさん。彼の情熱が世界的な変革を起こす日もそう遠くないのかもしれない。

Let's検索! 今月のセセデword

ブロックチェーンとは

ブロックチェーンは情報を記録するデータベース技術の一種。ブロックと呼ばれる単位でデータを管理し、それを鎖(チェーン)のように連結してデータを保管する技術を指します。各々のブロックに直前のブロックの内容を表すハッシュ値と呼ばれるデータが書き込まれるので、仮にデータを改ざんした場合でも、それ以降に導き出されるハッシュ値が全て異なるため、安全にデータを管理できます。同じデータを複数の場所に分散して管理もでき、ブロックチェーンは分散型台帳とも呼ばれています。



※ブロックチェーンは、仮想通貨の一つであるビットコインを実現するための技術として開発された経緯もあり、そのほかにも契約や取引などを自動化するスマートコントラクトや、食品のトレーサビリティ確保への応用などが考えられている。

【今月の朝青PICK UP!】

東 chochong.touhoku



チョチョン東北では、この度東北各県の同胞の方々へ向けた2023年オリジナルカレンダーを作成しました！

1日ごとにウリマルの単語が書かれている『우리 말 달력(ウリマル単語カレンダー)』！

カレンダー販売の売上は、今年行われるチョチョンサンタのクリスマスプレゼントを作成する費用に使用します。

東北在住以外の方々でもご購入可能です！

カレンダー購入希望の方は一度チョチョン東北までご連絡ください！

皆様、ご協力の程よろしくお願い致します!!

#チョチョン東北
#朝青オリジナルカレンダー